



株式会社 唐沢農機サービスだより

私たちは、**農の心**と**インターネット**で地元農家を応援します。

「唐沢農機サービスだより」は、皆さまと私たちの「農」への想いをつむぐ広場です

私たち唐沢農機サービスは、ちよつとヘンな会社かも知れませんが、トラクターやコンバインが並んでいる隣に、パソコンが並んでいる社屋があります。ここでは、農家さんのホームページをつくったり、インターネット関連の仕事をしています。なぜ、こんなことになつてしまったのでしょうか。

そもそも、唐沢農機サービスは、農器具を提供したり、修理したりして、地元の農家の方々と一緒になつて、「元氣な農業」を支えてきました。ただ、高齢化や流通システムの変化などで、先が見えない農家さんが増え、「現状維持も難しい」といった元氣のない声も聞こえてきました。そこで思ったのは、『ITが救いになるのでは?』という事です。農業とITを掛け算できないか。インターネットで、野菜や果実を販売したり、不要な農機を売ったり、安価な中古を買い取るようにしたらどうだろうか? 『農×IT』で、農家の方々

を強く応援できるかも。

正直、農機具が正業なので、ITには不慣れでした。ですから、最初はインターネット専門の会社にこのアイデアを託しましたが、私たちが満足する結果は得られませんでした。原因は明らか。『農の心』は、伝言ゲームではよく伝わらないのです。私たちが農機を通して培ってきた、農家の方々とのは、『心』が媒介していたからなのでしょう。『それなら、自分たちでやってみよう!』ということ、インターネットの部門を一から立ち上げ、現在、設計から分析・運営まで一貫したサービスを提供。農業とITの掛け算の完成度を一歩一歩高めています。

この冊子も、皆さまと『農の心』でしっかりつながってほしい、という想いで創刊しました。いろいろな情報を共有することで、農業の輝きが少しでも増してくれれば、と願っています。

私たちの仕事を、ひとつひとつ紹介させていただきます。

今回は、農機販売事業をスタッフが語ります。

農機販売

農機修理

農機再生

コイン精米

インターネット事業
・WEB制作・運用
・コンサルティング

唐沢農機サービスは、5つの事業から成り立っています。農業機械が主体でしたが、8年前からインターネット事業を開始。より多角的に、農業に携わるお客様の要望に応えています。

タブレットで『ノウキナビ』をご覧になつている、六十代のお客様にはちよつとビックリしました。

農機販売事業部 田所 海人

先日、展示会があつたんですが、「チラシを見たからノウキナビ」ってのがあつたから、タブレットで覗いてみたよ」というお客様がいらつしました。他にも数名の方がご覧になつたようで、いづれも初老の方でした。私たちは、新品と中古の農機を店頭で販売していますが、インターネットで中古の農機を売り買いできる『ノウキナビ』というサイトも持っています。ただ、正直言つて、こんなお歳の方(失礼ですね)が、興味をもつていらつしやることには、ちよつとビックリしました。

でも、インターネットのおかげで農機販売がラクになつたワケではありません。やっぱ、顔と顔を合わせてコミュニケーションしながら



販売することは基本です。実際、農家さんのご自宅や畑にうかがつて、新製品を実演しながらご紹介したり、最新の農機の取り扱い方法をご説明したりしています。インターネットの時代になつても、地元の農家の方々と『心』と『心』のお付き合いは変わることはないと考えています。



スタッフを紹介します



出身は東京ですが、なぜか今、東御に馴染んでいます。

田所 海人

生まれは東京 世田谷。東御市の前は、大阪の自動車ディーラーで整備士をしていました。この会社には不思議な引力があるみたいで、他にも県外出身者がいっぱいいます。

私たちと一緒に働きますか。

農業に新しい風を起こす仲間を募集しています。職種/農業機械修理・販売



“ノウキナビ”にご興味がある方はノウキナビで検索してみてください。

ノウキナビ



恒例の展示即売会は、おかげさまで大盛況。

次回は4月1日(土)～2日(日)の開催です。

2月11日と12日の展示即売会には、おかげさまで、大勢のお客様に来ていただきました。次回は4月1日(土)・2日(日)に行きます。本格的に農作業が始まる時期になりますが、農機具の具合はいいかがでしょう。どんなことでもご相談に応じますので、この機会にぜひご来場ください。スタッフ一同、心よりお待ち申し上げております。



最近、こんなことがありました

「信州創業フェス」で、弊社代表取締役唐澤健之がプレゼンテーションを行いました。

弊社代表の唐澤は、長野市で開催された「信州創業フェス2017」のプレゼンターとして登壇。次のような内容を語りました。



創業時から「農業をもっとカッコよく」を掲げ、時代に則した販路の拡大に挑戦できる手段として自ずとウェブを活用する

事業モデルを目指すこととなりました。農機具修理販売の一面のみで農業に携わるのではなく、自社媒体を運営することで、農業における本当の意味でのウェブ活用を蓄積してまいりました。大手企業へのコンサル実績が多数ある「ウェブ集客部門」を有するのは業界内でユニークであり、他社に簡単に真似のできない強みであると考えます。両部門の相乗効果を農業に関わる仕事全てに還元し新しい農業の未来を作つてまいります。

農で輝いている方々を訪ねてみました

今回は、東御市で、お米とクルミをつくっていらっしゃる、田口勝男さんに、いろいろお話をうかがいました。



農業を始められて何年くらいになりますか？

長い間、長野の県庁で働いていました。本格的に始めたのは、退職後、六十五歳からです。それから、十四年になりますね。私が五十歳の頃、父が農業を出来なくなつて、土地は荒れ放題でしたからね。

おもにつくっていらっしゃる作物はなんでしょう？

稲作とクルミですが、今は、ほとんどクルミですね。でも、

まともに採れるようになったのは、昨年からは、病気や霜とかにやられて、ほとんどできまじんでした。新しい木を植えたり



して、やっと、たくさん収穫できるようになったんです。クルミの栽培には、どんなご苦労がありますか？

木は四十本ほどですが、やつぱり剪定がいちばんタイヘン。今は唐沢農機で買った高所作業車があるからいいものの、昔は一苦労でした。それでも十日ぐらいはかかりますからね。剪定は、年を越してやつちやいけないんです。クルミは水を吸い上げる力が強いので、一月とか寒い時期にやると、切った所の水分がツラツラみだりに凍って木がダメになりますね。剪定もそうですが、施肥や収穫とかも、ほとんど手作業なので、コタえます。でも、七十九歳になりましたが、体が続く限り頑張りたいと思つています。



【東部湯の丸インターより車で約15分】
国道18号線より小諸方面へ、「片羽」信号交差点を左折、直進400メートル左手、看板が目印

【小諸インターより車で約10分】
国道18号線より上田方面へ、「片羽」信号交差点を右折、直進400メートル左手、看板が目印



イセキ
トラクター
TM15
15馬力
¥850,000



三菱農機
バインダー
MB221
2輪2条刈り
¥290,000



丸山製作所
乗用モーター
MGA163
16馬力
¥560,000

中古車はこちら

【最新のお買い得商品です】

性能と価格には自信あり。ぜひ、実物を動かしてみてください。

三菱農機
管理機
MM300ABU
定価 ¥140,076(税込)
▼▼▼
特別定価
¥128,000(税込)



三菱農機
管理機
MFR30A
定価 ¥157,680(税込)
▼▼▼
特別定価
¥140,000(税込)



和同産業
除雪機
e-SB80
定価 ¥267,840(税込)
▼▼▼
特別定価
¥220,000(税込)



三菱農機
管理機
MMR600AUN
定価 ¥240,300(税込)
▼▼▼
特別定価
¥220,000(税込)

